

# 🌀 議会だより ふたば

第134号  
令和3年3月

発行：双葉郡双葉町議会  
編集：双葉町議会報編集委員会  
〒974-8212  
福島県いわき市東田町二丁目19番地の4  
☎(0246) 84-5200(代表)



## 主な内容

- 令和3年第1回臨時会（初議会）
  - ・議会構成・このようなことが決まりました…P2～3
- 令和2年第4回定例会
  - ・このようなことが決まりました……………P4～5
  - ・一般質問……………P6～10
  - ・女川町・石巻市行政視察報告……………P11
- 令和2年第2回臨時会・議会のうごき……………P12

写真：ふたば幼稚園 凧あげ ～鮫川河川敷公園～  
『お空に凧があがったよ!』

# 初 議 会

令和3年 第1回 臨時会  
～ 2月3日～

## 議会構成決まる

議長 伊藤 哲雄 氏  
副議長 高萩 文孝 氏

議会改選後、初の議会が2月3日に開かれました。正副議長選挙、議席の指定、各常任委員会の選任など、新しい議会構成が決まりました。

また、町長から提案された議案2件、監査委員の選任1件をいずれも原案のとおり可決しました。



1番 山根 辰洋 議員

皆様が積み重ねてきた営みを引き継ぎ、ここから数百年続く町の基礎を築けるよう、若い力全開で取り組んでいきます。叱咤激励をどうぞよろしくお願いします。



2番 小川 貴永 議員

故郷を再生し帰還に向けて  
・町民の利便を考えたまちづくりに取り組みます。  
・法的で平等な賠償に取り組みます。  
・廃炉作業、中間貯蔵施設の安全性に注視します。



3番 作本 信一 議員

全町民が避難して10年が経ちます。町の再生復興は勿論ですが、県内外で避難生活されている方々の声を、町政に届けます。



4番 石田 翼 議員

未来につなぐ まちづくり  
ふるさと双葉  
生活再建・具現化に向けて取り組みます。



5番 菅野 博紀 議員

◆賠償・補償問題に全力で取り組みます。  
◆避難生活の不自由さ解消に取り組みます。  
◆被ばくによる健康被害の定期健診を実施させます。



6番 岩本 久人 議員

震災・原発事故から10年の節目を迎え、あらためて町民の皆様様の健康維持・生活支援に取り組めます。町民との対話を重視し、戻りたい方、戻れない方、等しく心の復興・絆を大切にしたいと思います。



7番 高萩 文孝 副議長

住みたい人が  
住みたくなる町に!!  
①子どもたちの未来に向けた情操教育の充実  
②地域予防医療と高度医療の連携で、町民の健康推進  
③安定企業への雇用促進を図る



8番 伊藤 哲雄 議長

新生双葉町に  
思いを込めて!

### 議長就任あいさつ

このたび、令和三年一月二十四日の双葉町議会議員一般選挙におきまして、初当選することができました。これはひとえに町民の皆様のお力添えのたまものだと思っております。これから、双葉町の皆様に恥じることのない議会議員として精一杯頑張る所存であります。そして、去る、二月三日の臨時議会において、新議長として就任することになりました。議会の果たす役割を十分に認識し、これからも公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から、十年が経過しました。原子力発電所の事故の影響により町の復興の歩みは決して早くはありませんが、着実に双葉町の復興・再生は進んできております。帰りたくなるような、新生双葉町に思いを込めて！双葉町の復興・再生、次世代へ繋いでいける町、高齢者に優しい・避難者に寄り添った町に向けて、これからが勝負。全力で取り組むと共に町民の皆様のご理解とご支援を賜りながら新たな議会運営を進めて行くことをお約束し、議長就任のご挨拶とさせていただきます。

## 新しい議会構成

### 『総務教育常任委員会』

- 委員長 石田 翼
- 副委員長 小川 貴 永
- 委員 菅野 博 紀
- 委員 伊藤 哲 雄

### 『産業厚生常任委員会』

- 委員長 山根 辰 洋
- 副委員長 作本 信 一
- 委員 岩本 久 人
- 委員 高萩 文 孝

### 『議会運営委員会』

- 委員長 石田 翼
- 副委員長 山根 辰 洋
- 委員 小川 貴 永
- 委員 作本 信 一
- 委員 高萩 文 孝

### 双葉地方水道企業団議会議員

- 永 貴 孝
- 小 川 文
- 高 萩 文 孝

### 双葉地方広域市町村圏組合議会議員

- 洋 翼 雄
- 山 根 辰 洋
- 石 田 翼 雄
- 伊 藤 哲 雄

### 【一般会計補正予算】

予算総額389億4,760万3千円のうち、新型コロナウイルス対策費として歳入歳出それぞれ676万8千を追加。

### 【公共下水道事業特別会計】

繰越明許費として、公共下水道施設災害復旧事業を計上。

### 【監査委員の選任】

作本 信一氏を選任  
議会選出監査委員として、作本氏を選任。

令和 2 年第 4 回議会定例会は、12 月 8 日から 10 日までの 3 日間の日程で開かれました。

条例の制定、条例の改正、補正予算などの議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

内容は次のとおりです。

**第 4 回  
定 例 会**  
12月8日～10日

## 条例の制定・一部改正

- **双葉町議会議員及び双葉町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定**  
公職選挙法の改正により、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成経費が新たに選挙公営の対象となったため
- **特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正**  
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長等が職務のために要する 1 日あたりの費用の額が引き上げられたため
- **双葉町国民健康保険税条例の一部改正**  
令和 3 年 1 月 1 日施行の個人所得課税の見直しにおいて、国民健康保険税の負担水準に関して意図せざる影響や不利益が生じないよう、被保険者に係る所得等について所要の見直しを行うため
- **諸収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正**  
延滞金及び還付加算金に関しての地方税法等の一部を改正する法律が、令和 3 年 1 月 1 日に施行されることに伴い、関係条文等を整備するため
- **双葉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**  
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正を踏まえ、関係条文を整備するため
- **双葉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正**  
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正を踏まえ、関係条文を整備するため

### 町道路線の廃止

常磐双葉インターチェンジ並びに双葉駅西側地区一団地事業道路を整備するため道路法第 10 条第 1 項の規定に基づき廃止する

路線番号	路線名	起 点 (番地先から) 終 点 (番地先まで)	総延長
220	松倉・唐沢線	大字寺沢字唐沢 299 大字寺沢字中平 1-11	2,180.8 m
391	唐沢・大木沢線	大字寺沢字唐沢 105 大字寺沢字唐沢 203-2	924.6 m
392	蛇喰・長畑線	大字寺沢字蛇喰 38-1 大字寺沢字唐沢 58	1,120.0 m
462	唐沢・蛇喰線	大字松倉字蛇喰 100 大字松倉字蛇喰 108	439.5 m
480	蛭子堂・町西線	大字長塚字町西 20-1 大字長塚字町西 6-3	204.7 m

### 主な補正予算

- **テレワーク用ノートパソコン購入費**  
400 万円
- **庁舎整備地質調査業務委託料**  
1,000 万円
- **町長選挙費 選挙運動費**  
787 万 8 千円
- **町議会議員一般選挙費 選挙運動費**  
2,060 万円
- **中田・観音堂線外道路改良工事費**  
3,000 万円
- **聖火リレー記念式典運営業務委託料**  
133 万 6 千円

## 町道路線の認定

常磐双葉インターチェンジ並びに双葉駅西側地区一団地事業道路を整備するため道路法第8条第1項の規定に基づき認定する

路線番号	路線名	起 点 (番地先から) 終 点 (番地先まで)	総延長	路線番号	路線名	起 点 (番地先から) 終 点 (番地先まで)	総延長
220	中平・唐沢線	大字寺沢字中平 1-11 大字寺沢字唐沢 219-16	1,551.2 m	480	蛭子堂・町西線	大字長塚字町西 23-3 大字長塚字町西 32	175.1 m
391	唐沢・大木沢線	大字寺沢字唐沢 300-3 大字寺沢字唐沢 392	1,307.5 m	523	唐沢・寺沢橋線	大字寺沢字唐沢 293-1 大字寺沢字唐沢 259-1	336.8 m
392	蛇喰・長畑線	大字松倉字蛇喰 38-1 大字松倉字蛇喰 17-1	442.0 m	524	駅西1号線	大字長塚字町西 14-1 大字長塚字町西 6-3	97.5 m
462	唐沢・蛇喰線	大字寺沢字唐沢 288 大字松倉字蛇喰 17-1	902.0 m				

## 12月定例会の採決状況

件 名	議決結果
双葉町議会議員及び双葉町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
双葉町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
諸収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正について	原案可決
双葉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
双葉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
町道路線の廃止について	原案可決
町道路線の認定について	原案可決
令和2年度双葉町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
令和2年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
令和2年度双葉町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
令和2年度双葉町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
令和2年度双葉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決

## 議員5名が質問

## 一般質問

## 町政を問う

## 羽山君子 議員

- 生活サポート補助金について
- 町の復興について
- 東京電力の賠償について
- 医療施設について

## 菅野博紀 議員

- 町民の避難生活について
- 双葉町の帰還について
- 双葉町立小・中学校及び幼稚園について

## 尾形彰宏 議員

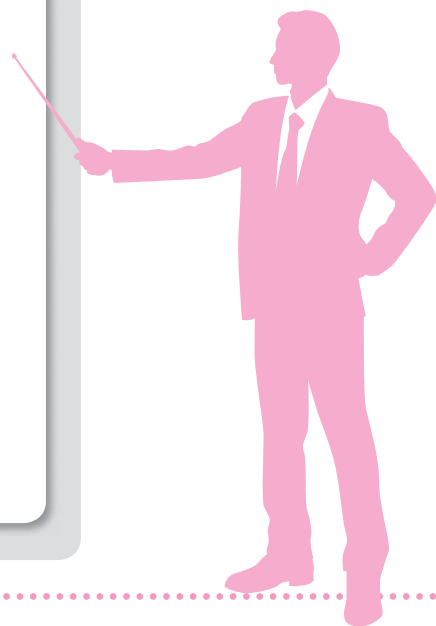
- 双葉町役場庁舎について
- 子どもたちの参加による、駅や産業交流センターの運営や装飾について
- 大型高精細テレビの導入について

## 高萩文孝 議員

- 医療体制の確保について
- 双葉町内の防犯対策について
- 観光客の増加や移住者の確保について

## 清川泰弘 議員

- 双葉町の復旧・復興の今後について



## 【一般質問とは】

議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をただすものです。

羽山君子  
議員



## 生活サポート補助金の取り組み

**問** 一括交付について、今後の取り組みは。

**答** 一括交付するための制度構築及び財源を含めた新制度での予算措置に向けて検討を進める。

質問

9月議会の一般質問で財源確保ができれば一括交付に取り組みとの答弁があったが、今後の取り組みを伺う。

町長

生活サポート補助金は、制度上補助金の一括交付はできないことや後世への財政的な負担等から一括交付は行わないこととしておりました。

しかし先般、議会からの要望書を受領したところであり、町としまして令和4年春ごろの町開始に伴い、帰町を選択した町民の皆さんの生活支援及び帰町の選択ができない町民の皆さんの避難先での生活再建の双方に、より活用いただけるよう、生活サポート補助金を一括交付するための制度構築及び財源を含めた新制度での予算措置に向けて検討を進めてまいります。

## 町の復興

質問

町内企業の事業再開に対する、町の支援策を伺う。

町長

地元企業による双葉町内での事業再開につきましては、双葉町内での働く場や機会が創出、人やモノの流れが生み出されることにより復興の更なる加速化が期待されます。

双葉町企業誘致条例を平成30年6月に制定させていただき、震災時に町内に事業所を有していた事業者が当該事業所等で事業を再開する場合、または震災以降、初めて町内に事業所等を再整備して事業を再開する場合は、一定の要件を満たす事業者に対して操業奨励金を交付し、震災時に町内に住所を有している従業員を1年以上雇用した場合には雇用促進奨励金を交付することとしております。

## 東電賠償

質問

原陪審へ要望書を渡した際の各委員の感触を伺う。また、原陪審が示した賠償指針の見直しについて町長の考えを伺う。

町長

原陪審・鎌田会長、大塚会長代理に対し要望書を手交するとともに、意見交換を行い、当町の現状と特殊性を踏まえ賠償基準の見直しを強く要望しましたが、当町と原陪審、文科省との温度差を感じました。

被害者一人一人の被害実態に即した賠償等が確実に行われ、生活再建等を確実に果たすことができるよう、今後も被災地域について一律の対応ではなく町の被害実態に即した賠償の実施と指針の見直しと合わせ、国や東京電力に対し、引き続きあらゆる機会を捉え粘り強く求め続けてまいります。

## 医療施設

質問

町内への医療施設の整備について、ノウハウのある東京電力に依頼してはどうかと思うが町長の考えを伺う。

町長

現在、福島県厚生農業協同組合連合会と医師確保や運営方法等について協議を進めており、現時点では東京電力に医療施設の整備・運営をお願いすることは考えておりません。

また、医療施設の整備や事業運営の財源につきましては、震災及び原発事故に伴って休止した医療機関の開設及び運営を支援する制度として設けられている「福島県地域医療復興事業補助金」を活用していきたいと考えております。



**議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。**

傍聴もできますので、お気軽にお越しください。

開会日が決まると、日程や開催場所などホームページでお知らせしますが、問い合わせ等ございましたら、議会事務局（双葉町役場いわき事務所）までご連絡ください。

**☎0246-84-5200（代表）**

## 医療費免除・高速道路無料化の継続



菅野博紀 議員

問

9月定例会で国に要望活動したとの答弁だったが、その結果について伺う。

答

医療費免除・高速道路無料化措置などの継続延長については、現在のところ決定しておりません。

質問

9月定例会の一般質問において国に対し要望活動を行ったとの答弁だったが、その結果について伺う。

町長

8月7日、復興庁などに要望を行った医療費免除・高速道路無料化措置などの継続延長については、現在のところ決定しておりません。

平沢復興大臣がいわき事務所を訪問された折にも、重ねて継続延長の要望を行っており、国には要望の趣旨をご理解いただいているものと考えております。  
これらの措置は、例年2月に継続延長が決定されておりますが、国関係省庁に対しては、中間貯蔵施設の受け入れなど町民の皆さんの思いと、当町が今なお全町民の避難が継続している特殊性をしっかりと伝え、これらの生活支援策が今後も継続延長されていくよう機会を捉えて強く求めていきます。

## 双葉町への帰還

質問

町への帰還にあたり何かあった時の責任は国が取るべきとの答弁だったが、国は責任を取り切れるのか町長の考えを伺う。

町長

前回の第3回双葉町議会定例会の一般質問の中で、令和4年春ごろの特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除にあたって、町民の皆さんが戻って生活していくためのいろいろな取り組みに対して、その責任は国として取るべきであろうと答弁させていただきました。  
避難指示解除にあたっては3要件があり、その要件を満たすために、帰還に向けた町の取り組みに対して支障があれば、国はさまざまな施策を講じてその解消のための対策を講じていく責任はあるものと考えております。

平成28年12月に閣議決定された「原子力災害からの福島復興の加速のための基本方針について」の中で、「帰還に向けた安全・安心対策を今後とも国が、将来にわたり責任をもって、きめ細かく着実に進めていく」と明記されており、国としてその責任を果たすべきと考えております。

## 学校・幼稚園

質問

町立小・中学校及び幼稚園の現在の人数と定数を問う。  
また令和4年以降の学校施設はどうするのか伺う。

町長

現在、双葉南小学校14名、双葉北小学校15名、双葉中学校11名、ふたば幼稚園5名、合計で45名が通学、通園しております。

定員については、学校基本法、児童福祉法の関



係法令により、小学校においては36名程度、中学校は18名程度、幼稚園は10名程度となります。

また、既存の町立学校等の施設の在り方の適正化を図るため、「双葉町学校等施設在り方検討委員会」において検討いただいております。

来年2月上旬ごろを目途に答申を頂き、その後、総合教育会議の中で答申を検討し学校施設等の在り方の方向性を決定してまいります。

なお、いわき市で開設している仮設校舎につきましても、双葉町内における学校再開について、今後の「双葉町復興まちづくり計画」の中に盛り込み具現化するまで、引き続き存続してまいります。



双葉町学校等施設在り方検討委員会 町内学校施設視察の様子



町立学校梅檀祭の様子



尾形彰宏  
議員



## 双葉町役場庁舎

**問** 体育館跡地が理想的と考えるが町長の考えを問う。

**答** 地盤が軟弱であるなど、課題が多く、庁舎利用は考えていない。

**質問**  
女川町・石巻市行政視察を実施し、石巻市庁舎に理想を感じた。双葉町役場庁舎は体育館跡地が理想的と考えるが、いかがか。

**町長**

役場機能の再開については、双葉町コミュニティセンターの活用を基本に検討を進めてまいりましたが、コミュニティセンターを改修した場合とほぼ同程度の費用で、仮設庁舎の整備が可能であるとの見通しが立ったことから、役場の本体機能としての規模の仮設庁舎を東側駅前広場に整備したいと考えております。

また、体育館跡地については、地盤が軟弱であるなど新庁舎整備の候補地としては課題が多いと考えており、役場庁舎としての利用は考えておりません。今後、体育館跡地につきましても、既存市街地の復興・再生につながる活用方策などについて、幅広く検討してまいりたいと考えております。

## 双葉駅・産業交流センターの装飾

**質問**  
子どもたちによるJR双葉駅や産業交流センターの運営や装飾デザインについて町長の考えを伺う。

**町長**

双葉南小学校と北小学校では、総合的な学習として、町を盛り上げるための新しい土産物のアイデアなど考えられており、JR双葉駅東西自由通路や産業交流センターに展示が可能となるよう、引き続き、町立学校などと連携し、協議しながら、検討してまいりたいと考えております。

## 大型高精細テレビ

**質問**  
町の広報や情報提供に大型高精細テレビの導入検討について町長の考えを伺う。

**町長**

現在、町からの情報発信として、紙ベースで

「広報ふたば」や「ふたばのわ」、動画配信としてYouTubeでの「双葉町公式チャンネル」、「ダブルット端末」による町民の絆・コミュニティの維持・発展を目的とし、情報を発信しているところであります。

令和2年11月における双葉町民は、全国42都道府県348市町村に避難しております。

町広報の基本としましては、町民の皆さんに町の情報をお知らせすることが肝要であることから、広報業務の内容の充実に、国内をはじめ、全世界に町復興の取り組みを情報発信してまいりたいと考えております。

大型高精細テレビ導入の検討につきましては、課題も様々ある中で、拡大している新型コロナウイルス感染症予防を鑑みながら、必要性、重要性も考慮するとともに、今後の避難指示解除時期を見据えた役場機能の在り方等も踏まえ、導入の可否について検討してまいりたいと考えております。

## 医療体制の確保

**問** 避難指示解除に向け、医療の確保の進捗や調整状況を伺う。

**答** 福島県厚生農業協同組合連合会と医師や看護師等の確保、医療機器等の協議を進めている。

**質問**  
これまでも診療施設の整備についてスピード感をもって対応するとの答弁をいただいていたが、その後の進捗や調整状況について伺う。

**町長**

医療施設の整備に当たっては、医師の確保が第一の課題であり、町の意向を汲んで、福島県厚生農業協同組合連合会で調整を行っていただいているところですが、また、並行して、医師や看護師等のスタッフ数や必要となる医療機器、診療施設の間取りなど、事業運営に係る部分についても協議を進めているところで

す。医療施設の整備に係る財源としては、「福島県地域医療復興事業補助金」を活用していきたいと考えております。補助金活用の条件である医師等派遣が決定次第、補助金申請の手続きを行い、実施設計や整備工事、医療機器購入に取り組みすることとしています。

高萩文孝  
議員



### 防犯対策

質問

町内での盗難が発生しているが、今後の住民帰還に向けて、より一層防犯対策の取り組みが必要だと考えるが、町長の考えを伺う。

町長

特定復興再生拠点区域と帰還困難区域の境にバリケードを設置し、町が委託している町内防犯パトロール業務の巡回強化、特に特定復興再生拠点区域内についての戸別巡回を行う一方で、防犯カメラ等の整備も進めてきたところです。

今回、盗難事例が多発していることを受けて、双葉警察署にも要請し、警察官による巡回の強化を図っているところです。

一方で、警察に被害届が出がされていないケースや、まだ認知されていないケースもあると考えております。

被害に見舞われた場合には、双葉警察署に被害を届け出ていただくこと

で警察の捜査が始まり、犯人逮捕や犯罪の抑止に繋がりますので町民の皆さんのご協力をお願いいたします。



### 移住者の確保

質問

観光客が多くなってきた今、移住につなげるためにも集客を増やす取り組みを伺う。また、町として発信したい魅力や町の将来について伺う。

町長

9月20日に東日本大震災・原子力災害伝承館と、一部ではありますが復興祈念公園が開所し、10月1日には双葉町産業交流センターを開所すること

ができました。

開所後には、多くの方が来場されており、伝承館も想定を上回るペースで、1月に来場者2万人を数え、産業交流センターも、10社の貸事務所と飲食店3店舗及び土産物店舗が営業を開始しており、来訪者数が約2万人となっております。

来訪された方々が、継続的に来町されるよう、伝承館における企画展の実施や復興祈念公園の段階的な整備等を県に対して要望するとともに、産業交流センターのより一層の魅力向上を図ってまいります。

より一層広域的な関心を高めるため、公共交通機関の利便性向上を図り、遠方からでも、幅広い層の方々が訪れやすい環境としてまいります。

多様な、多くの方々に、町の復興や新たなまちづくりに携わっていただけるよう、現在、双葉駅西側地区において公営住宅を中心に新たなまちづくりの検討に取り組んでおります。

### 今後の町の復旧・復興

清川泰弘 議員



今後の町の復旧・復興に向けた決意と町長選挙再出馬の意思の有無を問う。

問

負託をいただけるならば、再度出馬したい。

答

質問

令和4年春ごろの町への帰還を控え、今後の町の復旧・復興の実現に向けた決意と町長選挙再出馬の意思の有無を伺う。

町長

震災から10年目を迎えます。平成25年3月の就任以来、全国に避難を強いられている町民の皆様への生活支援をはじめ、復興のために町が抱える数々の課題に取り組んでまいりました。

除染の取り組みや中間貯蔵施設の問題をはじめ、平成25年の埼玉県加須市からこの福島県いわき市への役場機能移転、避難所の閉鎖、いわき市での町立学校の再開、復興公営住宅の整備等、常に避難によりご苦労をされている町民の皆様の生活再建と町の復興を第一に、施策を進めてまいりました。

そして、当時はまだ明確とは言い難かった町への帰還について、一刻も早く町民の皆様が安心して帰還できる環境を整備する方策を模索しながら

前へ進んでまいりました。

双葉町に新たな未来をつくり出すためには、単に住むことができる環境をつくるだけでは不十分であり、積極的に「双葉で暮らしてみたい」と思っていただけける環境を築いていく必要もあります。現在進行形の原子力災害を受けている双葉町だからこそ、未来を考えていける場所として新たなチャレンジに取り組めるまちを目指し、その具現化に向け、町政に取り組んでまいります。

今月当初には、後援会の方々から出馬要請をいただきました。非常に光栄なことだと思っております。今、私としましては、今後の町の復旧・復興、町民の皆様の支援に関する取り組みに負託をいただけるならば、再度出馬をして、全身全霊を傾けて取り組んでいきたいと考えております。

# 宮城県女川町・石巻市行政視察報告書 10月29日～30日

10月29日・30日、東日本大震災からの復興事業を進めている女川町・石巻市の現状を確認し、今後の双葉町の復興の参考・知見とすることを目的に行政視察を実施いたしました。参加した議員の所感（要約）は次のとおりです。



女川町視察



石巻市視察

## 佐々木清一 議長

- ・女川町では商工会が中心となって公民連携を図り復興を進めている。中でも若者を中心とした100年先のまちづくりに感銘を受けた。自然災害に対するすべての町民の生命、財産を守るための準備の在り方を考えたまちづくりの必要性があると感じた。

## 岩本久人 副議長

- ・石巻市は津波による人的・建物被害の最大被災地域。災害に強いまちづくりを基本理念に行政・医療・福祉・防災を津波防災拠点として1か所に整備していた。改めて、「町づくりは人づくり」「人づくりは町づくり」の理念を実感した。

## 菅野博紀 議員

- ・女川町は東日本大震災の津波被災率最大の自治体であり、復興に向けて民間団体や行政が協力しながら町民の意見を聞く取り組みが勉強になった。

## 高萩文孝 議員

- ・女川町の基本理念「町民の命を守る減災と港町女川の再生」に沿って町役場、学校、医療などの活動同線を集約したコンパクトな町づくりが実現されていた。石巻市においても石巻駅を中心に行政・医療・福祉・防災の相互連携が図られていた。

## 羽山君子 議員

- ・女川町のだれでも参加型のまちづくりや身の丈に合ったまちづくりなど、公民一体の取り組みに感激しました。石巻市では働く人の利便性が図られており、経費節約につながると感じました。復興が進んでおり原子力災害との違いに驚きました。

## 石田翼 議員

- ・女川町は東日本大震災後の平成23年3月20日には復興に向けて町・町民が立ち上がった。宅地の高台移転や駅周辺などを視察したが、バランスの良いまちだと感じた。石巻市は復興基本計画のもと、災害に強いまちづくりに取り組むとのこと。いまだ両自治体ともに復旧・復興が継続していると感じた。

## 尾形彰宏 議員

- ・女川町の復興の姿は双葉町にとってお手本になることばかりだった。高台に住民移転を決めた決断と住民協力を深く感心した。石巻市では、地震津波などから町を守る思想と建設物配置に関心を持った。また市が実施した住民アンケートに基づいた結論の出し方、その結果の妥当性に感心した。

# 令和 2 年 第 2 回臨時会 ～11月30日～

● 職員の給与に関する条例の一部改正について

➡ 原案可決



## 議会のうごき

12月

8日～10日 第4回議会定例会  
福島県知事双葉町内視察

18日 双葉町ふるさと復興事業協同組合  
第6回通常総会  
19日 加藤官房長官双葉町内視察

2月

3日 第1回議会臨時会  
10日 双葉町商工会との懇談会  
12日 議会報編集委員会  
18日 横山復興副大臣とのオンライン会議  
24日 双葉地方水道企業団議会定例会  
25日 福島県町村議会議長会  
第2回定期総会



< 加藤官房長官 双葉町内視察 >



< 福島県知事 双葉町内視察 >

## 編集後記

東日本震災・原子力災害から早いもので10年、月日の流れが早く感じられます。

議会だよりは議会の情報をわかりやすく、皆様のお手元にお届けできるよう、内容の充実を図ってまいりますので宜しくお願いいたします。

令和3年1月24日執行の双葉町一般選挙にて、議会構成委員が変わりました。今後とも宜しくお願いいたします。

皆様方から議会だよりに対する、ご意見、ご要望ございましたらお寄せ頂きたいと存じます。最後になりますが、コロナ感染症に負けないよう、皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。

(石田)



### 【編集委員会】

委員長 石田 翼  
副委員長 山根 辰洋  
委員 小川 貴永  
委員 作本 信一